

⑩行動には理由がある♪

最近、あきこ先生はクラスの2人の男の子のことで悩んでいます。隣の席のみなこ先生は、ため息をついているあきこ先生に「何があったの?」と声をかけました。

「実は、私のクラスのゆうくとさとしくんがところかまわず大声を出すんです…」

“ 行動のABC ”を習っていたみなこ先生は、ここぞ!とばかりにアドバイスをしました。「ところかまわずということはないはずよ。一度、“行動の前と後に起こったこと”をよく見て、メモを取って見たら? だまされたと思ってやってみて!」

次の日からあきこ先生は、合間をぬって少しずつメモをとるようにしました。1週間後、みなこ先生と2人でメモを見て話し合うことにしました。

では、ゆうくとさとしくんのメモを見てみましょう。



<ゆうくん>

行動の前に起こったこと(A)	行動(B)	行動の後に起こったこと(C)
みんなで歌を歌っているとき	大声を出す	周りの子どもがゆうくんを見て笑い、真似をし始めた
自由遊びの時間 レゴで遊んでいるお友達の横で	大声を出す	「ゆうくん、なに?」とレゴで遊んでいたお友達が振り返った

<さとしくん>

行動の前に起こったこと(A)	行動(B)	行動の後に起こったこと(C)
生活発表会の練習 「さとしくんは、おさるさんをやってね」と言われた	大声を出す	「じゃあ、何がいい? イヌさんにする?」と聞かれ、イヌ役をすることになった
給食の時間 「今日はここに座ってね」といつもと違う席で食べるように言われた	大声を出す	「イヤなの? じゃあ、もどろっか」と言って、席を戻した

あれ? 同じ「大声を出す」という行動なのに、意味がちがうように思えてきました。ゆうくんの大声を出す行動は、「**お友達の注目を集めたい**」「**注意を引きたい**」という意味があるようです。

一方、さとしくんの行動には、大声を出すことによって「**イヤなことをしなくてすむ**」という意味があるようです。

「同じ“大声”でもいろいろな理由があるんだね・・・」とあきこ先生とみなこ先生は、しみじみ感心してしまいました。

では、支援を考えてみましょう。

<ゆうくん>



周りの子どもが注目しなかったらいいのかも・・・けど、子どもたちに無視は難しいかなあ・・・せめて、真似はダメって言わないと。あと、大声じゃなく「ねえ」「ちょっと」とか他の言葉を教えてみようかな。

<さとしくん>

もしかしたら大声を出すことで要求が通ると思ってるのかも。大声を出しても意味がないってことを教えなくちゃ。大声を出しても要求を通さないようにして、きちんと「おさるさんはイヤ」とかの言葉を教えようかな。



このように、全ての行動には理由があります。そのため、子どもの行動をじっくり観察する習慣をつけましょう。そうすれば、支援は自ずと思いつくはずです。



ルール⑩：行動には理由があることを忘れずに！

行動をじっくり観察しましょう。

